

文化財の見方・楽しみ方 19 ～高南小学校通学区域の巻～

高南小学校の通学区域には、江戸時代から続く金乗院・根生院・南蔵院という3つのお寺が集まっています。今回はこの3つのお寺にある庚申塔という文化財について紹介していきます。

江戸時代の人たちは、およそ2か月に1回めぐってくる庚申の日に、眠っている間に体の中にいる三尸という虫が暴れて、人の命を縮めると考えていました。このため庚申の日には、青面金剛（帝釈天や猿田彦大神の場合もあります）といわれる、病気をはねのける力を持った青色の身体に手を六本はやした怒った顔の明王を拝み、ごちそうを食べたり、話をしたりして眠らずに過ごしました。この青面金剛を信仰する人たちが建てた石の塔が、庚申塔です。

金乗院（地図番号⑥）には、豊島区内のお寺のなかで一番多い7基の庚申塔があります。この7基を建てられた年代順に見ていくと、青面金剛にお供する「みざる、きかざる、いわざる」とよばれる三猿の彫られ方（彫りの深さや、脚の太さ）の変化がわかります。根生院（地図番号⑤）には、元禄3年（1690）に建てられたものと、建てられた年代がわからないものの合計2基があります。元禄3年の庚申塔は、雑司が谷に住んだ俳人の金子直徳が寛政年間（1789～1801）につくった著作『若葉の梢』にもでてくるもので、当時の様子を伝える貴重な文化財となっています。南蔵院（地図番号④）には、4基の庚申塔が残っています。注目は元禄12年（1699）に建てられた庚申塔で、「きかざる」が「いわざる」と「みざる」の間から顔をのぞかせる姿は、一般的な「みざる」「きかざる」「いわざる」が横並びになっているものと違って、珍しいものです（写真参照）。

ぜひ、今回紹介した庚申塔と3つのお寺をめぐってみてください。きっとたくさんの発見がありますよ。



▲ 周辺マップ



▲ 珍しい並びの三猿

お問合せ 庶務課文化財グループ 3981-1190

柳下学務課長の

つぶやき



学務課の担当業務の一つに給食の提供があります。給食が子供たちのところに届くまでには栄養士や調理員など様々な人が関わっていますが、おいしくて安全な給食を食べてもらえるように私たち学務課も頑張っています。

ところで、ヒトの体を構成する細胞は、数週間から長くて数年で入れ替わるそうです。私の筋肉やおなか周りのお肉もいつか食べたものからできているはず。たくさん食べることも大切ですが、今の自分にどんな栄養が必要か（あるいは余っているか…）を考えながら食べるのも大事かもしれませんね。

ひとりじゃないよ 相談してね

豊島区はいじめ根絶に向けて「豊島区いじめ防止対策推進条例」を制定しています。

● 豊島区教育センター教育相談

名前を言わなくても相談できるよ。LGBTなどの相談もどうぞ。

03-3983-0094

開設日時：月～土曜日（祝日・年末年始を除く）午前9時～12時、午後1時～5時

● 豊島区子ども家庭支援センター

保護者の方の子育てについての相談や、地域で気になるお子さんの相談もできます。子どもの悩みも相談できるよ。

東部子ども家庭支援センター 03-5980-5275、0120-618-471（子ども専用）

西部子ども家庭支援センター 03-5966-3131

開設日時：月曜日～金曜日 午前9時～午後6時／土曜日：午前9時～午後5時

● 豊島区子ども若者総合相談「アシスとしま」

子どもからおおむね39歳までの若者の悩み、困りごとは「アシスとしま」へ！

03-4566-2476

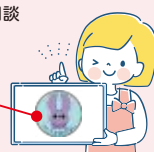
受付日時：月曜日～金曜日

8時30分～16時30分

（祝日・年末年始を除く）



区立小・中学生限定！
タブレットのアイコンから相談



● すずらんスマイルプロジェクト

詳しくはこちら▼

生きづらさを感じる10代から20代の若い女性を支援するため、豊島区役所で生まれたプロジェクトです。どんなことでも大丈夫。あなたの“なんとなく”を聞かせてください。

